

木登り上手な美しいカエル モリアオガエル

この学校でヒキガエルの研究を行う生徒たちに出会う前は、正直、カエルに対してそこまで強い興味を持っていたわけではなかった。いや、たしかに可愛いとは思っていたし、好きな生き物の1つであったが、**わざわざ夜の山に出向いてまでカエル探しに興じることになる**とは微塵も思っていなかった。それが今や、5月中頃になると、そろそろモリアオガエルやアマガエルの繁殖シーズンだ、とソワソワし始め、雨の日はすぐにでもカエル探しに出かけたい衝動に駆られる。もはや一種の病気である。

モリアオガエルは、その名の通り、森に住む青い（緑の）カエルで、**木の上に泡状の卵を産む**という非常に変わった生態をもつ。天然記念物に指定している地域もある。身近にはいないが、少し足を伸ばせば東京都内でも見られることを知り、繁殖シーズンである5月末に探しに行ってみた。

ある日の夜、東京都西部のとある山に着くと、カララッ…カララッと鳴き声が聞こえてきた。鳴き声を頼りに探してみると、5m以上はある高い木の枝の先端の方に緑色のカエルを発見した！木の上にいるとは聞いていたが、こんなに高いところにいるのか！カエルといえば、池や田んぼのイメージだったが、木登りガエルもいるなんて面白い。さすがにこの高さじゃ観察は厳しいと思って周囲を細かく探してみると、運良く低めの木に登っているオスを見つけた。鮮やかな緑色の体色に黒いおしゃれな斑点があって、**あまりの美しさにウットリしてしまった**。粘って観察を続けていると、**目の前のオスがあごの下を膨らませて鳴き始めてくれた**。オスは樹上で鳴きながらメスを待つ。本当はメスの登場を待って、オスを背負いながら泡状の卵塊を産んでいる様子を見たかったのだが、メスは一向に現れない。どうも産卵は深夜のようだ。断念。鳴くオスが見ただけで今年は良しとしよう。それにしても、なんて美しい声で鳴くのだろう。誰もいない夜の山中、雨の音とカエルの鳴き声だけが響き渡っていた。

ところで、モリアオガエルの泡状の卵塊は、今ネットオークション等で販売されていて問題になっている。泡状の卵塊は空気に触れると固くなるので、ヒトが運ぶのが簡単。だから、誰かが勝手に持って行ってしまう、中に数百の卵が入っている状態で販売してしまっているのだ。じつは、今回観察した場所でも、手の届く位置に**明らかに卵塊がはぎ取られた痕跡があった**。ただでさえ開発によって生息地が少なくなって絶滅が危惧されているカエルたちに、追い打ちをかけるようなこういった行為は絶対にあってはならない。



木の上に泡状の卵塊を産みつける。孵化したオタマジャクシは下の池に落ちる。



泡は時間が経つと固くなる。2021年に、この泡から新しいタンパク質が22種類も見つかった。



モリアオガエル *Rhacophorus arboreus* のオス 鮮やかな緑色に黒の斑点模様が非常に美しい。斑点は個体によって異なる。



鳴くオス 樹上で鳴いてメスを待つ。メスが来たら背中に乗り、メスはオスを背負ったまま産卵に適した場所まで移動して卵を産む。ときには5mくらい上の枝にすることもあって、観察中は首が疲れた。

